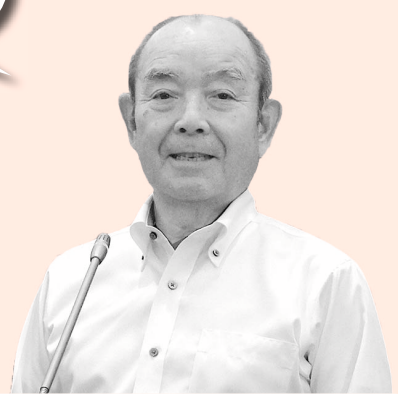


介護保険料がなぜ県内一高いのか

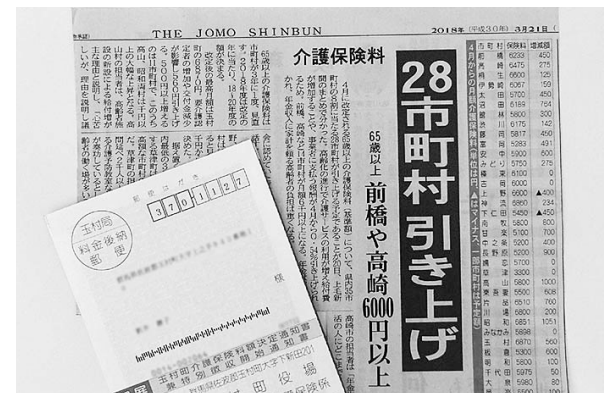


新井賢次



町長

調整交付金がゼロだった



介護保険料に関する新聞記事と通知書

質問 第1号被保険者の保険料基準額が県内一の高額になったが、その理由は。

答弁 町長 基準額は、介護保険事業に必要な標準給付費と地域支援事業費の総額から、国・県・町の負担金等を差し引き、所得段階を加味した第1号被保険者数で割るなどして算出される。

標準給付費は、人口推計から要介護・要支援認定者の増加、施設整備に伴うサービス量の増

加、さらに制度改正や介護報酬改定等を反映して増加する見込みである。

また、国から交付される調整交付金は、後期高齢者加入割合と所得分布が全国平均の市町村には5%支給されるものである。当町は後期高齢者加入割合、低所得者割合とともに全国平均よりも低いいため、平成30年度の交付金はゼロと決定され、被保険者の負担割合が増えることとなった。これらの要因等により基準額が上昇した。

質問 玉村町の介護保険サービスの報酬単価が、県内の他町村に比べて唯一3%高いことも要因と思うが、なぜ高いのか。

答弁 健康福祉課長 高崎市が3%であり、この3市に囲まれた当町は、立地により3%となっている。

質問 今後の取り組みはどうか。

答弁 町長 介護予防に全町をあげて推進する。元気な高齢者を増やし、団塊の世代が後期高齢者になるときを見据え、介護保険制度の安定的な運営のため努力していく。

歴史資産を活かした交流拠点を

質問 「和泉屋」の保存活用について文化財調査委員会から意見書が提出された。玉村八幡宮周辺が最後の「とりで」である。今こそ、官民が協働して保存・活用に知恵を絞るべきだ。

答弁 教育長 まずは今年度内に和泉屋の調査を実施し、結果を踏まえて、保存できるものは保存に向けて取り組みとともに、長期的には住民からの活用案を尊重しながら、官民協働で取り組みたい。

こんな質問もしています
ふるさと納税について

総合戦略 目的を見失うな



原利幸



町長

事業の内容を見直していく

質問 町は近い将来訪れる人口減少社会への対策として「玉村町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、平成31年度までの5カ年計画が進行中である。

基本的に31年度における目標数値を設定し、施策や事業の進捗状況を毎年確認するとともに社会状況の変化などに応じて審議会を開催し、基本目標が実現できるよう施策や事業の内容を改善していく。PDCAサイクル(※1)を回し、総合戦略を実現していくのコンセプトである。

政策分野「食によるまちづくりで交流人口を増やし雇用を創出する」についてPDCAがどのように行われたか検証し、さらに数値目標に対し現時点での達成度合いを評価せよ。

答弁 町長 事業の進捗状況は、玉村町総合戦略推進会議において平成28年度に2回、29年度は3月26日に開催し、各事業の評価指標に基づき検証し



食によるまちづくりの拠点「道の駅玉村宿」

すでに目標を達成している施策については新たな目標を立て、逆に達成が難しいものについては新たな事業やアイデアを再度出すという結果となっている。

質問 個々の施策や事業をやった、やらないではなく、本来の目的である「雇用の創出」は実現できているのか。

答弁 企画課長 オリジナル商品の製造・販売や道の駅での雇用など、一部成果も出て

いる。しかし、最終目標である雇用の創出の達成という点では、あまり結びついていない状況である。

質問 PDCAの考え方では、うまくいかない場合は、やり方に問題があるか、計画に無理があるかということになる。できそうもない施策や事業は早めに見切りをつけ、別の方法を考え実行すべきである。総合戦略推進会議で検討してはどうか。

答弁 町長 主要事業に掲げたものと判断し中止したものもある。経過を見ながら、必要な場合には見直す方向で考えていきたい。

※1 PDCAサイクルとは
業務等管理手法の1つ。Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)の4段階を順に繰り返すことで、業務の改善や品質の向上等に繋がるとされる。